


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

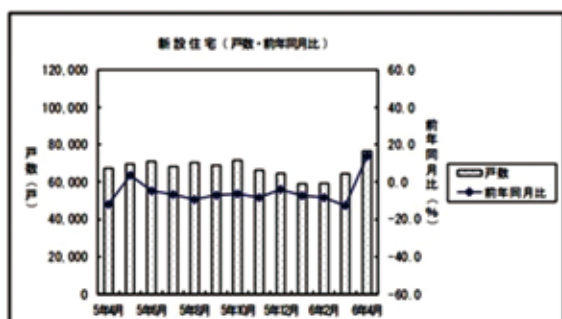


5月のアルミ概況および6月の見通し (2)

予想レンジ

LME 現物後場買い 2,500~2,700ドル ※
スクラップ +5円~+10円 (前月最終価格より) ※
為替 155円~159円 レンジ内
(1か月間TTM)

新設住宅 (戸数・前年同月比)



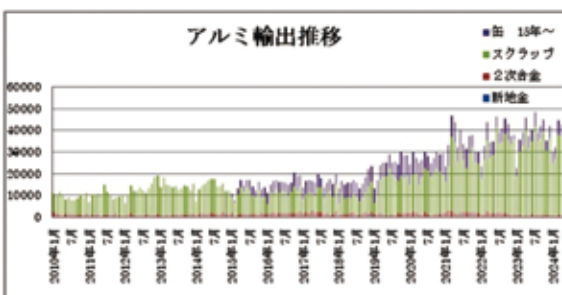
貿易指標

【輸出】

新地金は-20.8%の314 t。
二次合金は+62.4%の986 t。
スクラップは-9.4%の3万5,949 t。
アルミ缶は-6.2%の5,127 t。

輸出	2月	3月	4月
新地金	325 t	325 t	314 t
前年比	+21.7%	+21.7%	-20.8%
二次合金	563 t	776 t	986 t
前年比	-36.4%	-38.3%	+62.4%
スクラップ	2万6100 t	3万6832 t	3万5949 t
前年比	-10.8%	+15.1%	-9.4%
缶	5441t	6830 t	5127 t
前年比	+4.5%	-9.3%	-6.2%

輸出推移

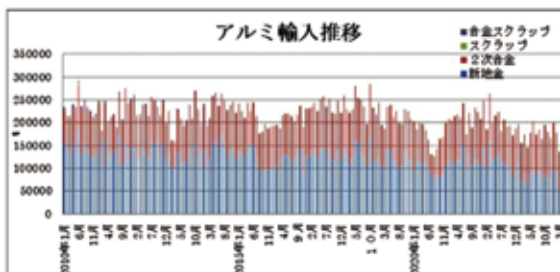


【輸入】

新地金は+19.4%の7万6,951 t。
二次合金は-13.7%の6万8,521 t。
スクラップは-24.5%の714 t。
合金スクラップは-8.4%の6,583 t。

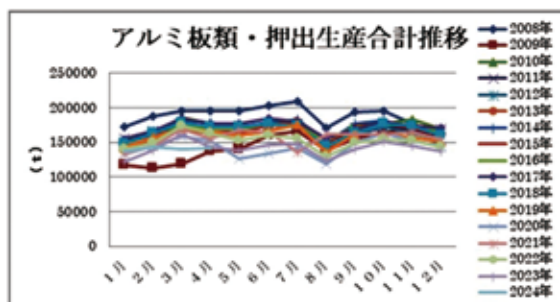
輸入	2月	3月	4月
新地金	9万2377 t	5万4569 t	7万6915 t
前年比	+28.4%	-39.4%	+19.4%
二次合金	8万4969 t	8万1299 t	6万8521 t
前年比	+3.1%	+3.2%	-13.7%
スクラップ	348 t	417 t	714 t
前年比	-23%	-30%	-24.5%
合金スクラップ	5745 t	6858 t	6583 t
前年比	-29.1%	-20.7%	-8.4%

輸入推移



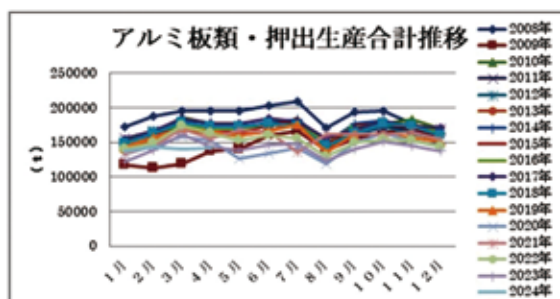
【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.6%の14万1,485 tで2カ月連続マイナス。



【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は-5.1%の5万7,340 tで2カ月連続マイナス。出荷は-0.1%の5万9,520 tで4カ月連続マイナス。



【見通し】

【自動車】

4月の自動車生産が-10.3%。5月国内販売台数が前年比-0.6%。4か月連続減少。ダイハツ、トヨタ問題による生産販売低迷ではあるが減少幅が縮小。来月以降回復との予想。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.6%の14万1,485tで2か月連続マイナス。住宅着工の増加により来月に期待。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-5.1%の5万7,340tで2か月連続マイナス。出荷-0.1%の5万9,520tで4か月連続マイナス。ダイハツ、トヨタ問題による生産販売低迷ではあるが減少幅が縮小。来月以降回復との予想。



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

LME公式値週間推移 6月3日~6月7日(現地)

日刊金属LINE公式アカウントでは建値情報などを随時お知らせします。右のQRコードをスキャンしてください。



【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続きLME価格が2,545から2,665.5ドル台と上昇傾向だった。ダイハツ、トヨタ問題の影響も収まり需要が回復、在庫薄。

需要面に関しては前月から更にダイハツ、トヨタ問題の収束などで需給が引き締まりだした。中国の買いは一服。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

①米FRBの金融政策

5月の米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数(48.7)が前月から悪化、ダウ・ジョーンズ通信がまとめた市場予想(49.6)以下だった。好不況の境目とされる50を2か月連続で下回り4月の米建設支出も前月から減少したことから米利下げ観測再燃した今後も景気減速を示す指数がでる可能性もあり潮目が変わるかも(利下げ方向へ)。

②日銀の金融政策

植田和男総裁が参院財政金融委員会に出席し、金融政策について発言。今月の金融政策決定会合でなんらかのアクションを起こすことを意識した発言だが、これまでよりも踏み込んでいる感じはない」との受け止めがあり、日銀総裁の発言は今のところ円相場への影響は限られている。

ことから155-159円でのレンジ内に動きになるのではないかと踏まえた今月のアルミ価格は2,500-2,700ドル(セツル)との予想。

ドル円値は155円~159円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+5円から+10円程度と予想している。

(「5月のアルミ概況および6月の見通し」おわり)